

8 設問別調査結果 [~ P67]

小学校国語 A : 主として知識

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,571	1,113	60.4
全国(公立)	1,108,245	20,418	62.7
秋田県(公立)	8,178	227	71.7

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	45.2	43.2	56.8
	書くこと	4	50.1	53.0	64.0
	読むこと	3	60.5	60.1	71.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15	60.5	62.6	71.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	41.3	44.9	58.9
	話す・聞く能力	1	45.2	43.2	56.8
	書く能力	4	50.1	53.0	64.0
	読む能力	3	60.5	60.1	71.7
	言語についての知識・理解・技能	15	60.5	62.6	71.2
問題形式	選択式	7	65.4	66.3	74.4
	短答式	10	58.9	61.9	71.1
	記述式	1	41.3	44.9	58.9

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
1- (1)	漢字を読む(乗り物の差を買う)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む												99.0	0.5	98.9	0.5	99.7	0.1
1- (2)	漢字を読む(子孫のためにゴミをへらす)													77.8	2.3	79.2	2.2	90.6	0.6
1- (3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)													62.9	3.5	64.9	3.1	68.8	1.3
1二(1)	漢字を書く(魚をゆく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く												67.0	6.7	72.4	5.6	82.8	1.4
1二(2)	漢字を書く(バスがていしゃした)													41.8	13.7	46.9	11.0	57.9	4.6
1二(3)	漢字を書く(委員会をもうける)													49.6	31.7	53.5	27.4	66.2	10.8
2-	ことわざの意味として適切なものを選択する(石の上にも三年)	ことわざの意味を理解する												66.6	0.9	71.1	1.2	70.7	0.4
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する(急がば回れ)													82.3	0.9	86.1	1.2	90.5	0.3
3-	文のはじめの5文字を丸で囲む	文の定義を理解する												31.3	23.9	36.5	20.2	47.3	12.5
3二(1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く												20.2	12.5	23.4	10.3	33.4	3.7
3二(2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する	接続語「だから」のもつ働きを理解する												82.5	3.5	83.3	3.5	88.0	1.6
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く												70.3	13.1	72.4	11.9	82.3	5.0
4イ														68.9	19.8	71.3	18.1	81.6	8.2
4ウ															41.3	22.5	44.9	20.3	58.9
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	広告を読み、編集の特徴を捉える												61.0	7.1	61.1	9.2	71.8	2.2
5イ														72.6	7.9	71.7	10.3	85.9	2.6
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える												47.9	11.4	47.5	14.4	57.5	3.9
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する	スピーチの表現を工夫する												45.2	18.5	43.2	21.9	56.8	6.6

塗りつぶしは、全国より高い平均正答率及び全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	4 / 18問	0 / 17問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	6 / 18問	0 / 17問

小学校国語B：主として活用

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,566	1,113	46.4
全国(公立)	1,108,075	20,417	49.4
秋田県(公立)	8,176	227	59.1

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	62.0	64.8	72.7
	書くこと	4	40.4	43.8	53.6
	読むこと	4	44.9	47.9	58.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	60.9	63.8	74.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2	39.4	42.5	51.6
	話す・聞く能力	3	62.0	64.8	72.7
	書く能力	4	40.4	43.8	53.6
	読む能力	4	44.9	47.9	58.5
	言語についての知識・理解・技能	1	60.9	63.8	74.6
問題形式	選択式	3	57.1	59.7	67.5
	短答式	5	42.8	45.9	57.0
	記述式	2	39.4	42.5	51.6

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1ー	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	相手の立場や状況を感じ取って聞く											76.9	1.3	78.8	1.2	83.1	0.3
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする											45.6	1.3	48.5	1.2	59.3	0.3
1三	川本さんの助言についての説明を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする											63.5	12.9	67.2	9.7	75.8	3.3
2ー	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える											60.9	5.3	63.8	4.4	74.6	1.2
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く											22.0	15.6	26.2	13.3	36.4	4.6
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く											15.4	26.6	17.8	20.4	27.5	8.6
3ーア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く	2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える											47.0	18.0	49.7	15.7	60.2	7.1
3ーイ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く												42.1	32.5	45.3	28.8	57.8	14.9
3ーウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く												41.9	34.4	44.6	30.6	56.2	16.1
3二	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える											48.8	10.5	51.9	10.6	60.0	5.1

塗りつぶしは、全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	0 / 10問	0 / 11問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	1 / 10問	0 / 11問

小学校算数A：主として知識

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,575	1,113	74.9
全国(公立)	1,108,272	20,418	77.2
秋田県(公立)	8,178	227	82.8

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区別の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域	数と計算	8	77.8	80.2	86.4
	量と測定	4	65.5	68.3	73.5
	図形	3	70.4	72.5	80.2
	数量関係	4	81.7	83.4	86.8
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	84.8	86.2	91.1
	数量や図形についての知識・理解	11	67.6	70.5	76.8
問題形式	選択式	8	65.5	68.2	74.4
	短答式	11	81.7	83.6	88.9
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	243-65 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる										87.6	0.2	88.2	0.2	93.1	0.0
1(2)	0.75+0.9 を計算する	小数の加法の計算をすることができる										73.3	0.3	71.3	0.3	85.2	0.1
1(3)	9.3×0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる										79.6	0.5	83.7	0.4	88.3	0.1
1(4)	6÷5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる										86.6	1.6	88.3	1.4	92.2	0.4
1(5)	16-(6+3)を計算する	()を用いた整数の計算をすることができる										94.4	0.8	94.4	0.8	96.3	0.2
1(6)	2と5/7+1と1/7 を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる										89.2	2.2	88.9	2.1	92.0	0.6
1(7)	2/9×4 を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる										83.0	3.1	89.5	1.7	91.7	0.7
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している										55.1	2.5	60.2	1.9	70.6	0.3
3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している										67.6	1.9	71.6	1.8	78.4	0.5
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位置当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している										46.3	1.0	50.0	0.8	53.9	0.2
5(1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している										96.8	0.4	97.4	0.4	98.9	0.1
5(2)	1a(1アール)と等しい面積になる正方形の1辺の長さを選ぶ	1a(1アール)の面積と等しい正方形の1辺の長さを理解している										51.3	1.2	52.3	1.1	59.9	0.4
5(3)	上底3cm、下底8cm、高さ4cm、斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している										67.8	2.4	73.3	2.1	81.4	0.6
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している										58.8	1.1	60.7	1.0	72.4	0.2
7(1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している										90.0	2.5	90.6	2.1	93.7	0.8
7(2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さ求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長さと展開図の側面の辺の長さが対応していることを理解している										62.3	6.8	66.3	5.7	74.6	2.3
8(1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している										73.8	2.4	76.7	2.2	79.2	0.6
8(2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している										74.1	2.9	76.9	2.8	81.8	0.8
9	最小盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さと最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる										84.6	2.8	85.7	2.8	89.8	0.8

塗りつぶしは、全国より高い平均正答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25 2/19問	H24 1/19問
無解答率が全国より低い設問数	H25 0/19問	H24 0/19問

小学校算数B：主として活用

集計結果

	児童数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,570	1,113	54.0
全国(公立)	1,108,107	20,417	58.4
秋田県(公立)	8,176	227	67.1

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域	数と計算	3	43.5	48.3	61.7
	量と測定	7	51.3	56.0	63.8
	図形	3	77.3	79.3	82.7
	数量関係	7	50.1	54.9	64.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	8	41.8	46.8	58.0
	数量や図形についての技能	1	73.1	76.1	80.2
	数量や図形についての知識・理解	4	73.7	77.2	81.9
問題形式	選択式	4	70.8	73.8	77.5
	短答式	4	57.9	61.9	71.7
	記述式	5	37.5	43.2	55.1

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまた乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる										48.8	3.6	51.0	3.1	66.1	0.9
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できる										46.0	1.1	50.8	0.9	64.3	0.4
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している										44.9	4.7	51.7	3.4	62.9	1.1
2(2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求めるときの式を選択することができる										71.1	1.7	75.6	1.3	77.8	0.4
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さで10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる										30.3	23.9	35.2	19.0	44.4	7.2
3(1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる										85.8	0.9	87.3	0.8	90.6	0.3
3(2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる										38.0	20.3	42.7	15.6	55.0	5.6
3(3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる										53.3	4.4	56.3	3.6	61.2	2.0
4(1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求めるときの方法と答えを書く	単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる										35.7	14.9	43.1	11.4	54.6	4.9
4(2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる										92.8	3.3	94.2	2.6	96.3	0.9
4(3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる										45.3	9.6	50.6	7.4	61.3	2.8
5(1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる										73.1	6.2	76.1	5.1	80.2	1.9
5(2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる										37.3	9.4	44.4	7.8	57.0	3.6

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	0 / 13問	0 / 13問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	0 / 13問	0 / 13問

中学校国語A：主として知識

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,387	631	76.0
全国(公立)	1,026,851	9,752	76.4
秋田県(公立)	8,720	122	81.9

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	77.9	77.6	82.1
	書くこと	4	63.7	64.5	73.2
	読むこと	6	79.3	80.0	84.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	77.2	77.5	82.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	77.9	77.6	82.1
	書く能力	4	63.7	64.5	73.2
	読む能力	6	79.3	80.0	84.8
問題形式	言語についての知識・理解・技能	18	77.2	77.5	82.9
	選択式	21	77.0	77.3	82.3
	短答式	11	74.0	74.7	81.1
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	話し合いでの司会の発言の役割について説明したものと適切なものを選択する	話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たす													90.5	0.1	90.5	0.2	94.5	0.1
1二	話し合いの方向を捉えた司会の発言として適切なものを選択する														57.5	0.1	54.7	0.2	58.8	0.0
2一	「おかしいようでもあり、又それがおもしろくもおもしろ」と筆者が述べたものとして適切なものを選択する	描写に注意して読み、内容を理解する													76.8	0.1	76.0	0.3	82.2	0.1
2二	「あの枯れ枝の梢を……うれしげであることだろう。」と筆者が感じた理由を説明したものと適切なものを選択する	描写の効果を考え、内容を理解する													85.2	0.3	86.7	0.5	90.3	0.2
3一	見出しを変更した理由として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す													58.5	0.5	58.1	0.8	67.9	0.4
3二	出された意見を整理して、決定の理由を適切に書く	文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く													47.8	7.1	48.8	6.0	61.3	2.3
4一	「内容」の欄に共通する表現の仕方の説明として適切なものを選択する	文章の表現の特徴を捉える													84.6	0.2	84.8	0.3	91.2	0.1
4二	前日までに申込みをしなくても中学生が参加できる講座番号を選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る													69.8	0.2	70.1	0.4	75.1	0.1
5一	米の断面図に入る言葉として適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する													86.1	0.3	86.8	0.4	89.7	0.1
5二	「小麦はそういうわけにはいきません」と述べている理由として適切なものを選択する	文章の展開に即して内容を捉える													73.3	0.3	75.6	0.4	80.4	0.2
6一	取材の仕方の説明として適切なものを選択する	話すための材料を多様な方法で集める													84.0	0.5	84.6	0.7	88.6	0.3
6二	カードを使って話す際に使用する言葉の組合せとして適切なものを選択する	論理的な構成や展開を考えて話す													79.4	0.6	80.7	0.9	86.4	0.5
7一	比較の対象が明確に分かるように書く	伝えたい事柄を明確にして書く													72.2	5.2	73.6	4.4	80.3	1.6
7二	内容に応じて第二段落を二つに分ける	段落の役割を考えて文章を構成する													76.1	0.9	77.5	1.1	83.4	0.5

中学校国語A：主として知識

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,387	631	76.0
全国(公立)	1,026,851	9,752	76.4
秋田県(公立)	8,720	122	81.9

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	77.9	77.6	82.1
	書くこと	4	63.7	64.5	73.2
	読むこと	6	79.3	80.0	84.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	77.2	77.5	82.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	77.9	77.6	82.1
	書く能力	4	63.7	64.5	73.2
	読む能力	6	79.3	80.0	84.8
	言語についての知識・理解・技能	18	77.2	77.5	82.9
問題形式	選択式	21	77.0	77.3	82.3
	短答式	11	74.0	74.7	81.1
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
8-1	漢字を書く(大きな主ボウをもつ)	文脈に即して漢字を正しく書く												85.3	3.1	87.5	3.0	92.5	0.8
8-2	漢字を書く(おやつを主ントウに分け合う)													55.9	13.5	59.3	11.9	66.9	4.8
8-3	漢字を書く(着物に合わせてオビを選ぶ)													67.4	15.0	66.7	15.2	77.4	5.8
8-1	漢字を読む(豊論を唱える)	文脈に即して漢字を正しく読む												94.4	2.3	93.2	2.7	96.8	0.7
8-2	漢字を読む(社会を風刺する)													74.1	4.1	70.6	4.9	77.6	1.6
8-3	漢字を読む(山々が連なる)													89.7	2.2	89.4	2.7	96.5	0.6
8-3ア	適切な語句を選択する(今年の夏の暑さには開目した)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う												45.0	1.5	46.6	1.7	47.7	1.0
8-3イ	適切な語句を選択する(友達に将来の抱負を話す)													65.2	0.6	62.7	0.8	75.3	0.3
8-3ウ	適切な語句を選択する(あこがれの仕事に就く)													96.5	0.5	96.3	0.7	98.4	0.3
8-3エ	適切な語句を選択する(直前になって、二の足を踏む)													86.0	0.7	84.8	0.9	88.1	0.4
8-3オ	適切な語句を選択する(にわかに関雨が降り出し、人々はあわてた)													83.1	0.7	81.3	0.9	88.1	0.4
8-3カ	適切な語句を選択する(彼には、いくら言っても「馬の耳に念仏」で効果がない)													90.0	1.0	90.2	1.1	94.8	0.6
8-4	行書を楷書で書く	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く												96.6	1.4	96.4	1.4	97.7	0.5
8-5-1	「母がイギリスに帰りました。」という言い方が正しい理由として適切なものを選択する	敬語の働きについて理解する												68.0	0.9	69.8	1.0	76.2	0.5
8-5-2	適切な敬語を選択する	文脈の中で敬語を適切に使う												91.5	0.8	91.3	1.0	93.8	0.5
8-6	「すさまじい」と修飾・被修飾の関係にあるものを選択する	修飾語と被修飾語の照応について理解する												70.7	1.3	73.4	1.5	78.3	0.8
8-7-1	「かすみ」や「雲」のように見えたものを本文中から抜き出す	比喩を用いた表現について理解する												48.3	3.6	52.4	3.7	56.2	1.7
8-7-2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(にほふ)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む												82.8	5.2	83.4	5.5	89.3	2.1

塗りつぶしは、全国より高い平均正答率及び全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	13 / 32問	11 / 32問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	27 / 32問	18 / 32問

中学校国語B：主として活用

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,391	631	66.2
全国(公立)	1,027,087	9,750	67.4
秋田県(公立)	8,718	122	74.6

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	61.6	62.7	71.7
	読むこと	8	66.4	67.8	74.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	64.4	64.6	74.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	61.6	62.7	71.7
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	61.6	62.7	71.7
	読む能力	8	66.4	67.8	74.6
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	64.4	64.6	74.6
	選択式	5	66.8	68.2	74.4
	短答式	1	77.0	77.5	83.9
	記述式	3	61.6	62.7	71.7

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1一	段落相互の関係について説明したものととして適切なものを選択する	段落相互の関係を理解し、文章の展開を捉える											70.3	0.3	71.7	0.4	77.4	0.1
1二	図が示す内容を説明したものととして適切なものを選択する	図と文章との関係を捉える											61.1	0.3	62.7	0.4	69.1	0.1
1三	「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く	課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える											55.9	3.4	57.9	2.8	67.9	1.0
2一	エヌ氏の生活について説明した言葉を本文中から抜き出す	文章の展開に即して内容を捉える											77.0	2.7	77.5	2.6	83.9	0.8
2二	表現の効果を説明したものととして適切なものを選択する	表現の仕方に注意して読み、その効果を考える											74.4	0.4	75.6	0.5	80.8	0.1
2三	文章を読んで感じたことや考えたことを具体的に書く	文章の内容について、根拠を明確にして自分の考えを書く											64.4	16.0	65.7	11.3	72.7	4.6
3一	新聞記事の書き方の特徴を説明したものととして適切なものを選択する	文章の構成や表現の特徴を捉える											60.1	0.7	61.0	0.9	66.3	0.6
3二	資料がどのような疑問を解決するための参考になるのかを説明したものととして適切なものを選択する	情報を関連させて読む											68.0	0.8	70.2	1.2	78.4	0.6
3三	間違えやすい漢字を学習する際の注意点やコツを、漢字の特徴を取り上げて説明する	漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書く											64.4	6.1	64.6	5.4	74.6	2.7

塗りつぶしは、全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	0 / 9問	3 / 9問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	5 / 9問	5 / 9問

中学校数学A：主として知識

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,388	631	62.3
全国(公立)	1,027,458	9,751	63.7
秋田県(公立)	8,716	122	68.9

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合がありますため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合があります。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域	数と式	11	70.3	72.7	78.4
	図形	12	63.4	64.6	70.1
	関数	9	58.1	58.7	63.4
	資料の活用	4	46.5	46.8	51.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	66.3	67.9	73.9
	数量や図形などについての知識・理解	19	58.7	59.8	64.4
問題形式	選択式	18	60.6	61.8	66.4
	短答式	18	64.0	65.5	71.4
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	$5/8 \times 3/4$ を計算する	分数の乗法の計算ができる													79.8	2.9	83.2	2.3	85.4	0.8
1(2)	$5 \times (4 - 7)$ を計算する	() を含む正の数と負の数の計算ができる													83.4	1.1	87.5	1.2	91.3	0.3
1(3)	四則計算のうち、整数の範囲で閉じていない計算を選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している													73.3	0.4	75.8	0.4	81.1	0.1
1(4)	東京の時刻を基準にして、東京とカイロの時差を表す	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している													62.0	7.1	64.8	5.3	71.2	2.1
2(1)	$2(5x + 9y) - 5(2x + 3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる													77.8	2.3	81.7	2.3	83.2	0.8
2(2)	縦 a 、横 b の長方形において、 $2(a + b)$ が表す量を選ぶ	与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる													63.5	0.3	66.9	0.4	75.3	0.1
2(3)	a mの重さが b gの針金の 1 mの重さを、 a 、 b を用いた式で表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる													29.0	22.2	32.3	18.4	44.1	8.9
2(4)	等式 $2x + 3y = 9$ を y について解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	等式をある文字について解く際に用いられている等式の性質を理解している													71.8	0.7	74.0	0.8	81.7	0.3
3(1)	$3x + 7 = 9$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる													73.5	6.8	73.7	6.4	79.1	3.3
3(2)	$2x + y = 6$ の解となる x 、 y の値の組を選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している													75.6	1.0	77.5	1.2	81.4	0.6
3(3)	数量の関係を連立二元一次方程式で表す	具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることのできる													83.5	9.4	82.7	9.2	89.0	3.7
4(1)	長方形の2倍の拡大図をかく	与えられた図形の拡大図をかくことができる													86.5	2.0	88.4	1.8	89.0	0.8
4(2)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図の方法を、図形の対称性に着目して見直すことができる													48.6	0.8	48.9	1.0	57.3	0.4
4(3)	ABCを、点Cを回転の中心として時計回りに回転移動してDECにぴったり重なるとき、回転角の大きさを求める	回転移動の意味を理解している													54.2	4.3	56.0	3.5	66.7	1.4
5(1)	立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ	空間における2直線の位置関係を理解している													54.7	0.8	56.7	1.1	58.4	0.4
5(2)	与えられた見取図から、その立体の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる													84.8	0.5	85.0	0.6	89.5	0.1
5(3)	球と円柱の体積を比較し、正しいものを選ぶ	球の体積を、球がぴったり入る円柱の体積との関係から理解している													46.5	0.7	47.1	0.9	56.1	0.4

中学校数学A：主として知識

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,388	631	62.3
全国(公立)	1,027,458	9,751	63.7
秋田県(公立)	8,716	122	68.9

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域	数と式	11	70.3	72.7	78.4
	図形	12	63.4	64.6	70.1
	関数	9	58.1	58.7	63.4
	資料の活用	4	46.5	46.8	51.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	66.3	67.9	73.9
問題形式	数量や図形などについての知識・理解	19	58.7	59.8	64.4
	選択式	18	60.6	61.8	66.4
	短答式	18	64.0	65.5	71.4
	記述式	0			

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)
6(1)	平行線の間の三角形について、その内角 x 、 y の和の値を選ぶ	1組の平行線に直線が交わってできる角の性質を理解している											77.8	0.9	78.8	1.0	82.3	0.7
6(2)	五角形のある頂点における外角の大きさを求める	多角形の外角の意味を理解している											55.7	6.6	55.4	6.0	55.4	3.8
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している											78.9	0.6	79.2	0.7	81.3	0.3
7(2)	長方形の対角線の長さが等しいことを、記号を用いて表す	図形の性質や条件を、記号を用いて表すことができる											67.1	16.2	68.5	14.1	79.0	6.4
7(3)	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	平行四辺形になるための条件を理解している											44.0	1.0	47.7	1.1	50.8	0.5
8	証明で用いられている図が考察対象の図形の代表であることについての正しい記述を選ぶ	証明の必要性と意味を理解している											62.3	0.9	64.1	1.0	75.0	0.4
9	y が x の関数である事象を選ぶ	関数の意味を理解している											16.2	1.4	13.8	1.6	13.4	0.7
10(1)	座標平面上の点の座標を求める	座標平面上にある点の位置を、2つの数の組で表すことができる											77.2	5.0	78.9	4.4	83.5	1.7
10(2)	比例定数が3である比例の式を選ぶ	比例定数が a である比例の式は $y = ax$ で表されることを理解している											63.7	1.2	64.7	1.3	69.4	0.6
10(3)	比例の表からグラフを選ぶ	比例の表とグラフの関係を理解している											53.0	1.5	52.5	1.5	57.5	0.7
10(4)	反比例 $y = 6/x$ のグラフを完成する	反比例の式から、グラフをかきことができる											67.8	8.2	71.0	6.8	77.6	3.5
11(1)	一次関数 $y = 2x - 1$ について、 x の値が3のときの y の値を求める	一次関数の式について、 x の値に対応する y の値を求めることができる											79.1	9.8	81.9	8.5	87.0	4.3
11(2)	一次関数の表から変化の割合を求める	一次関数の表から、変化の割合を求めることができる											44.1	23.5	42.4	23.7	53.7	13.3
12	一次関数の事象を式で表す	具体的な事象から、 x と y の関係を $y = ax + b$ の式で表すことができる											53.5	19.8	54.3	18.4	59.1	10.3
13	二元一次方程式 $y = 3$ のグラフを選ぶ	二元一次方程式のグラフの特徴を理解している											67.9	1.6	69.0	1.6	69.6	0.9
14(1)	生徒35人がハンドボール投げを行い、記録の平均値が21mだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	平均値の意味を理解している											73.8	1.8	77.4	1.8	78.5	1.1
14(2)	6月の日ごとの最高気温の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める	ヒストグラムから相対度数を求めることができる											24.5	27.5	22.8	25.1	33.4	11.7
15(1)	1枚の硬貨を多数投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	確率の意味を理解している											34.9	2.6	33.1	2.7	36.2	1.8
15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方も1になる確率を求める	簡単な場合について確率を求めることができる											52.7	15.5	53.8	12.9	57.1	7.4

塗りつぶしは、全国より高い平均正答率及び全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H 25	H 24
	7 / 36 問	5 / 36 問
無解答率が全国より低い設問数	H 25	H 24
	16 / 36 問	23 / 36 問

中学校数学B：主として活用

集計結果

	生徒数	学校数	平均正答率(%)
北海道(公立)	43,395	631	39.1
全国(公立)	1,027,411	9,748	41.5
秋田県(公立)	8,716	122	47.5

ひとつの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
			北海道(公立)	全国(公立)	秋田県(公立)
学習指導要領の領域	数と式	5	37.7	41.7	47.5
	図形	2	44.2	44.8	48.5
	関数	6	37.9	40.0	45.2
	資料の活用	3	40.5	42.2	51.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	12	32.4	34.8	40.2
	数学的な技能	2	49.4	53.1	58.7
	数量や図形などについての知識・理解	2	68.9	70.7	80.3
問題形式	選択式	4	41.6	43.3	46.4
	短答式	5	53.0	55.8	62.7
	記述式	7	27.8	30.3	37.3

設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			北海道(公立)		全国(公立)		秋田県(公立)		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1(1)	15歳の優子さんの安静時心拍数が80のときの目標心拍数を求める	与えられた情報を言葉で表された式に基づいて処理することができる													50.1	8.1	53.7	7.2	58.6	2.9
1(2)	45歳の優子さんのお父さんとお母さんの安静時心拍数の差が10のときの、二人の目標心拍数の差を求める	言葉で表された式の数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈することができる													28.5	25.5	31.7	22.2	35.6	13.3
1(3)	安静時心拍数が年齢によらず一定であるとするときの目標心拍数の変わり方を選び、その理由を説明する	事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができる													20.9	6.6	23.7	4.5	28.2	3.8
2(1)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の差が9の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる													34.9	26.3	37.3	23.1	39.8	13.4
2(2)	2けたの自然数と、その数の十の位の数と一の位の数を入れかえた数の和について予想した事柄を表現する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる													34.1	39.9	38.0	34.9	44.5	19.9
3(1)	水を熱し始めてから10分間で上がった温度を求める	与えられた表から情報を適切に選択し、処理することができる													72.5	5.1	72.4	4.5	79.7	1.4
3(2)	与えられた表やグラフを用いて、水温が80になるまでにかかる時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる													29.4	37.3	31.7	34.1	43.0	19.0
3(3)	水を熱した時間と水温と同じように考えて求められる事象を選ぶ	事象を理想化・単純化して、事柄を数学的に捉え、他の事象との関係を考えることができる													25.9	1.5	26.9	1.9	26.2	0.9
4(1)	2つの辺の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	方針に基づいて証明することができる													32.2	26.4	32.4	23.3	36.3	12.7
4(2)	2つの辺の長さが等しいことを証明する際に、根拠として用いる平行四辺形になるための条件を選ぶ	証明の方針を立てることができる													56.2	1.8	57.1	2.0	60.8	0.6
5(1)	横の長さが与えられた長方形が含まれる階級を書く	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる													65.2	14.9	69.0	12.1	80.9	5.0
5(2)	まとめ直したヒストグラムの特徴を基に、学級の生徒が美しいと思う長方形について新たにわかることを説明する	資料の傾向を的確に捉え、事柄の特徴を数学的に説明することができる													22.6	47.8	24.8	43.1	36.8	25.7
5(3)	図2のヒストグラムで最も度数の大きい階級に含まれることになるものを選ぶ	事象を数学的に解釈することができる													33.7	1.9	32.7	2.2	36.2	1.1
6(1)	1辺に5個ずつ碁石を並べて正三角形の形をつくったときの、碁石全部の個数を求める	問題場面に於ける考察の対象を明確に捉えることができる													48.6	8.1	52.5	7.0	58.7	3.5
6(2)	碁石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ	数学的な結果を事象に即して解釈することができる													50.8	1.8	56.6	2.1	62.3	1.3
6(3)	碁石全部の個数を、 $3(n-2)+3$ という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる													20.2	49.8	24.1	43.2	32.4	27.7

塗りつぶしは、全国より高い平均正答率及び全国より低い無解答率

平均正答率が全国より高い設問数	H25	H24
	2 / 16問	1 / 15問
無解答率が全国より低い設問数	H25	H24
	4 / 16問	4 / 15問